

～海洋資源を活用した脱温暖化プロジェクト「横浜ブルーカーボン」～

市独自の制度で横浜の海をもっと魅力的に！



カーボン・オフセットによる取組が広がっています！

環境未来都市・横浜市は、海洋資源を活用した新たな脱温暖化プロジェクト「横浜ブルーカーボン」において、横浜市独自のカーボン・オフセットによる取組を平成 26 年度から実施しています。

地元の企業・団体の「わかめの地産地消」等による CO₂ 削減効果を活用し、今年度は昨年度に引き続き市内で開催された 2 つのトライアスロン大会で排出された CO₂ のオフセットを行います。また、新たに、ヨットレース大会及び市内企業の事業で排出された CO₂ のオフセットを行います。

28 年度は杉の木約 3300 本分^{※1}を「横浜ブルーカーボン」でオフセット！



「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」では、横浜市域のブルーカーボンまたはブルーリソースによる温室効果ガスの吸収量の増大及び排出量の削減を取引可能なクレジットとして認証しオフセットを促進するとともに、その販売代金の活用によって「横浜ブルーカーボン」の取組の更なる推進を目指しています。

クレジットの創出

①NPO 法人海辺つくり研究会

臨港パーク前の海域にて、わかめの植付け・収穫による環境啓発イベント「夢わかめワークショップ」を開催しています。

わかめ
地産地消



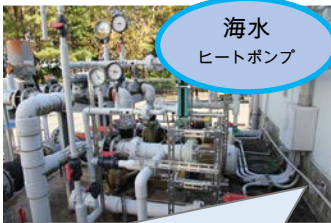
わかめ
地産地消



②横浜市漁業協同組合

八景島の沖合にてわかめを養殖し、収穫されたわかめを市内で販売しています。

海水
ヒートポンプ



わかめ
地産地消



③株式会社横浜八景島

わかめの植付けイベント・収穫イベント等の環境啓発イベントや省エネ効果のある海水ヒートポンプの導入による CO₂ 削減の取組を行っています。

【認証する CO₂ 削減効果】

- ◆ わかめを市外から搬入せずに「地元産わかめの地産地消」を行うことにより CO₂ 削減に貢献する量を算定しています。
- ◆ 横浜・八景島シーパラダイスでは、年間を通じて温度が安定している海水のエネルギーを活用した先進的なヒートポンプを水族館の空調設備に導入しています。「海水ヒートポンプの導入」の省エネ効果による CO₂ 削減に貢献する量を算定しています。

オフセット実施イベント等

①2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

【開催日】平成 28 年 5 月 14、15 日
【会場】山下公園周辺特設会場
【出場者】1,645 名



②第7回横浜シーサイドトライアスロン大会

【開催日】平成 28 年 9 月 25 日
【会場】横浜・八景島シーパラダイス、
金沢工業団地周辺
【出場者】906 名



③タモリカップジャパンツアー横浜大会 2016

【開催日】平成 28 年 9 月 4、11 日
【会場】横浜ベイサイドマリーナ
【出場者】約 3,000 名（180 艇）



新規

④石井造園株式会社

石井造園株式会社の事業（平成 28 年 1 月 1 日
～12 月 31 日）



石井造園株式会社

新規

海洋に生息する生き物によって吸収・捕捉される炭素を「ブルーカーボン」といいます。

『横浜ブルーカーボン』では、「ブルーカーボン」に加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース」と名付け、これらを一体として脱温暖化に取り組み、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。



カーボン・オフセット※²の内訳

2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

- ①横浜市漁業協同組合
わかめの地産地消(27年度認証分) **3.6** t-CO₂
- ②横浜市漁業協同組合
わかめの地産地消(28年度認証分) **14.2** t-CO₂
- ③NPO 法人海辺つくり研究会
わかめの地産地消(28年度認証分) **1.0** t-CO₂

計 **18.8** t-CO₂
のオフセット

【CO₂排出量の算出対象】
大会出場者の会場までの往復移動、
運営関係者の会場までの往復移動、
大会会場におけるエネルギー使用



©Satoshi TAKASAKI/JTU

○全排出量のうち一部はJ-VER クレジットを活用してオフセットしています。※3



削減努力を行いました!

横浜ブルーカーボン事業を広く参加者へ周知および理解していただくため、参加選手からの環境協力金を活用し、横浜市漁業協同組合のご協力のもと、参加者のレースの完走を願って「完走(乾燥)わかめ」を配布し、0.4t-CO₂分削減しました。

第7回横浜シーサイドトライアスロン大会

- ①横浜市漁業協同組合
わかめの地産地消(27年度認証分) **4.8** t-CO₂
- ②株式会社横浜八景島
わかめの地産地消(28年度認証分) **0.7** t-CO₂
- ③株式会社横浜八景島
海水ヒートポンプの導入(27年度認証分) **0.9** t-CO₂
- ④株式会社横浜八景島
海水ヒートポンプの導入(28年度認証分) **0.9** t-CO₂

計 **7.3** t-CO₂
のオフセット

【CO₂排出量の算出対象】
大会出場者の会場までの往復移動、
運営関係者の会場までの往復移動、
大会会場におけるエネルギー使用



○全排出量を横浜ブルーカーボン・オフセット制度を活用してオフセットしています。

タモリカップジャパンツアー横浜大会 2016

- ①横浜市漁業協同組合
わかめの地産地消(28年度認証分) **2.1** t-CO₂

計 **2.1** t-CO₂
のオフセット

【CO₂排出量の算出対象】運営関係者の会場までの往復移動、
会場が発生するごみの処分、大会ガイドブックの紙の製造

○全排出量のうち一部はJ-クレジットを活用してオフセットしています。※4



石井造園株式会社

- ①横浜市漁業協同組合
わかめの地産地消(28年度認証分) **1.0** t-CO₂

計 **1.0** t-CO₂
のオフセット

【CO₂排出量の算出対象】石井造園株式会社の事業(平成28年1月1日~12月31日)に伴う水道、ガソリン・軽油、電気の使用

○全排出量のうち一部はJ-クレジット等を活用してオフセットしています。※5



- ※1)樹齢80年の杉の口1本1年分のCO₂吸収量を8.7kg-CO₂/年として計算しています。
- ※2)「カーボン・オフセット」とは、自分の温室効果ガス排出量を把握し、できるだけ排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量(クレジット)で相殺(オフセット)することをいいます。
28年度の本制度では、8,640円/t-CO₂でクレジットの取引を行っています。
- ※3)2016世界トライアスロンシリーズ横浜大会のカーボン・オフセットでは、横浜ブルーカーボンによるCO₂削減量が不足したため、国の制度であるJ-VERクレジットを活用し、東口本口震災における被災地でのCO₂削減活動である「警城造林(株)社有林における田人町旅人での森林吸収プロジェクト」により、排出量14t-CO₂分をオフセットしています。
- ※4)タモリカップジャパンツアー横浜大会2016のカーボン・オフセットでは、国の制度であるJ-クレジットを活用し、全国の住宅における太陽光発電設備の導入でのCO₂削減活動により、排出量2t-CO₂分をオフセットしています。
- ※5)石井造園株式会社のカーボン・オフセットでは、J-クレジットを活用し、全国の住宅における太陽光発電設備の導入でのCO₂削減活動により、排出量56t-CO₂分を、J-VERクレジットを活用し、「米川生産森林組合有林間伐促進森林吸収プロジェクト」により、排出量2t-CO₂分をオフセットしています。

28年度「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」証書授与式を行います!

「第5回ブルーカーボン・シンポジウム in 横浜」

日時 平成29年3月4日(土) 14時から16時まで
場所 横浜八景島シーパラダイス内 ホテルシーパラダイスイン 2階

*当日の取材を希望される場合は、ご案内いたしますので、事前に温暖化対策統括本部までご連絡ください。

詳しくは、チラシをご覧ください

「横浜ブルーカーボン」は今後もカーボン・オフセットやイベントなどを通じ、様々な市民や企業・団体にご参画いただき、海洋資源を活用した取組の輪を広げていきます!

横浜ブルーカーボン

検索

お問合せ先

温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課長	岡崎 修司	TEL 045-671-2636(横浜ブルーカーボン)
(公財)横浜市体育協会 トライアスロン推進部長	金子 忠彦	TEL 045-680-5538(トライアスロン大会)
市民局 スポーツ振興課担当課長	杉本 光明	TEL 045-226-5036